

平成28年度和歌山県文化功労賞

みなみ とし ゆき
南 敏行

住 所 和歌山県新宮市
出 身 地 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町
生年月日 昭和21年10月11日

◎ 業績及び経歴

昭和21年新宮市に生まれ、那智勝浦町で育つ。幼少期から昆虫に興味をもっていった氏は、和歌山大学教育学部在学中から昆虫の研究活動を開始。卒業後は中学校理科教諭のかたわらで、生物の研究に尽力。平成18年に熊野川中学校校長を最後に退職した後は、一層本格的に研究に取り組む。

専門分野は昆虫で、特にトンボについて重点的に調査・研究を行い、現在では本県におけるトンボ研究の第一人者である。

また、貴重な自然の状況を把握し、保全の対象とすべきものを明らかにするために本県が発行している和歌山県レッドデータブック改訂時には、専門委員として本県の貴重な昆虫のリストアップを行い、改訂に大きく貢献した。

なお、氏の活動は、研究・学術分野にとどまらず、社会教育も範疇とし、教員時代の昭和59年から続けている自然探訪スクールでは、参加者に自然の営みを体感させ、自然保護の精神を培っている。さらに、平成6年には自然公園指導員となり、生息する生き物の解説や自然公園でのマナーの指導も行っている。

現在、熊野自然保護連絡協議会会長、新宮市熊野学研究委員会自然部会会長などを務め、熊野地域の自然や文化に関するシンポジウムの開催等に精力的に活動する一方、和歌山県環境学習アドバイザー、和歌山県立自然博物館アドバイザーとして提案や助言を行い、本県全域での教育普及にも携わっている。

このような功績から、平成22年には自然公園指導員環境省自然環境局長表彰を、平成27年には自然公園関係功労者環境大臣表彰を受賞している。長年にわたり、地域住民に対する自然教育を通して、自然保護思想の普及、希少生物の保護に尽力してきた功績は誠に多大である。



■ 現 在

自然環境研究家
環境省自然公園指導員
環境省希少野生動植物種保存推進員
和歌山県自然公園指導員
和歌山県環境学習アドバイザー
和歌山県立自然博物館アドバイザー(昆虫)
新宮市熊野学研究委員会自然部会会長
新宮市熊野古道を愛する会指導員
新宮市文化財保護審議会委員
熊野自然保護連絡協議会会長
公益財団法人熊野林業評議員

◆ 主な表彰歴等

昭和63年 和歌山県教育奨励賞
平成22年 自然公園指導員環境省自然環境局長表彰
平成27年 自然公園関係功労者環境大臣表彰